

米帝のカンボジア侵略反対、北爆再開抗議、日米共同声明に基く日本政府の侵略協力反対！
愛知外相のアジア会議出席反対、自保放棄、侵略と反動の佐野打倒

本日本米軍のカンボジア侵略抗議全大阪青学総決起

全市大の学反諸君！ 3月18日の石浜野村によるカンボジアワーニターをロコッに

① 米帝によるカンボジア侵略は最後のあがき
スーパースーパー鉄槌を浴びせ、ババ成り戦争で全勝
利へ爆進せよ！

支障し、必死のまき返し策動を企てようとしている米帝は4月30日ニワソン声明で最後の試みとして力関係の転換を計るべく「カンボジア侵略」に突入、5月1日より、百数十村にのぼる巨大な空軍力を駆使して全面的に東南や侵略を開始した。60年代後半以後展開されたベトナム侵略戦争に比し誰の目にも米帝の軍事政治的敗北が明らかなっている中で、そして最後にはドル危機という、な、てない大規模な政治的経済的諸矛盾の激化の中で米帝のこの最後のあがきは、米帝内の意見の分岐をますます増大させている。我々は4月26日に開かれたインドシナ人民首脳会議を指し示した「情勢はたつてはインドシナ人民に有利」という正しい視点をふまえてこのことを必要である。すでに今回の事態に際しては帝國主義世界内部で、大々的な意見のくいちがいは見せており、米帝内部にも全米学生同盟の激しい反動が現れつつあり、米帝の孤立化は決定的なところにある。

② 本日のカンボジア侵略抗議斗争を日帝の
東南アジア侵略阻止日米共同声明実
現化阻止と位置づけ、全学友の決起を！

全市大の学反諸君！ 我々とりわけ注目しなければならないのは、先進資本主義国の中で唯一、この野蠻な米帝の策動に支障を与えている日本の佐野内閣である。これは米帝における日帝の地位がきまると日米共同声明の実現化として規定される時、我々の斗いは佐野内閣を一步一歩追いつめる中で日米共同声明実現化阻止の斗いに統合されるべきものではないことを示している。本日の斗いの意義を再度確認しよう。それは第一に、米帝のより一層の世界的孤立化をなすこと、英雄のベトナム人民を先頭とする東南アジアにおける民族解放勢力の勝利を、最終的なものにするところであり、第二に、その斗いを我々がめざしている侵略協力をロコッに展開し、自ら積極的に海外侵略を意図している佐野内閣を打倒し、日米共同声明の実現化を阻止していくことである。第三に以上の斗いから自衛隊の中軸をなす沖縄斗争と密接な関連を有するが故にその沖縄の基地撤去即時全面撤退の斗いを強化していくこと、自衛隊に向けては日米共同声明でポスト構築を実現していくことである。とりわけ本土においては、春斗の圧倒的昂揚がなちとられており、戦時的組織的力者の斗いが職場・生産点を中心として進められていく。我々はクラス末端からのクラス闘争を基礎とした大衆的決起をもって、これにこたえ、とりわけ大阪の地においては全大阪職場反成連組合を中心とする労働者部隊との固い連帯を強化していかねばならない。

全市大の学反諸君！

本日の斗いに圧倒的に決起し、平和と民主主義の道をより一層強固に築き上げようを誓うはな！

全市大の学反諸君！ 3月18日 210の教室
全市大の学反諸君！ 6月1日 扇町公園

平和と民主主義をめぐす
学生共闘